

理科部 夏休みの研修②

小畑川水生生物調査

身近な川の生物調査

7月27日(木)夏休み第2週に、京都府保健環境研究所環境衛生課の方々を本校にお迎えし、また、理科部の保護者の方にお手伝いをしていただきながら小畑川の水生生物調査を行いました。

その調査の目的は水生生物(水質を判定する指標生物)



「生物調査の方法」の説明風景



「パケットテスト」の水の採取、およびその色の変化

の生息状況を調査することとで、その川の水質を判定する調査でした。

まず最初に、COD(化学的酸素消費)のパケットテストの使用方法的説明があり、水を採取し、水の判定を行いました。同じ場所からの採取でしたが、丁寧に採取しないと反応が異なることがわかりました。

次には、川に入り、石のついでに水生昆虫を集めました。下流側に網を置



川底の石を足で動かし、網で水生生物を集めている様子

き、川底の石を動かしての生物採取を行いました。網を白いパレットに移し、どのような水生生物がいるのかを調べました。

水生生物の種の判定は、保健環境研究所の方をお願いをしました。でも、本校一年生でも、よく知っている生徒がいました。

開口一番、「よしのぼり」がいるといったのは本校の一年生でした。婚姻色となっているおいかわもいました。コオニヤンマやトビケラ、みずむし、もいました。

どろむしやユスリカはたくさんいました。かわむつ、もろこ、ぼら、そして、川の両岸には又マエビがたくさんいました。

最後に、それらの生物から小畑川を環境を判定しました。

判定結果は、水質階級の判定は「ややきれいな水」の判定でした。調査の最初に行ったCODの判定と同じ結果となりました。



調査日時	調査場所	調査者	水温	pH	溶存酸素	COD	水生生物	その他
7月27日	小畑川	理科部	25.0	7.5	5.0	150	コオニヤンマ、トビケラ、みずむし、もい、どろむし、ユスリカ、かわむつ、もろこ、ぼら、マエビ	
7月28日	小畑川	理科部	24.5	7.8	5.2	140	コオニヤンマ、トビケラ、みずむし、もい、どろむし、ユスリカ、かわむつ、もろこ、ぼら、マエビ	
7月29日	小畑川	理科部	25.2	7.6	5.1	155	コオニヤンマ、トビケラ、みずむし、もい、どろむし、ユスリカ、かわむつ、もろこ、ぼら、マエビ	